

## 「2017年度日本生協連資料室土曜講座」(第4期)のご案内

日本生協連資料室 三崎

### 1. 「資料室土曜講座」のこれまでの経過と開催主旨

2014年度より土曜日を開室することにし、職員が自主学習のための資料室活用を奨励するためのきっかけづくりとして「土曜講座」をスタートした。2014年度から掲げている「開催主旨」は以下の通り。

「生協で働く」には、さまざまなスキルや高度な専門知識が必要です。「生協で働き続ける」には、一人ひとりが、生協とは一体いかなる組織なのか？ 生協はいかにあるべきなのか？ といった根源的な問いに真摯に挑み、自らの立ち位置、意思位置をしっかりと固めていかなければならないでしょう。資料室ではその一助として、保管する史資料や持てる人的ネットワークを活かして「土曜講座」を開講します。

### 2. 「土曜講座」のこれまでの概要

第1期=2014年度 第2期=2015年度

受講対象を日本生協連グループで働く方々、OB・OGの方々に限定して開催。内容省略。

第3期=2016年度

生協に関心のある方や生協を研究対象とされる方々にまで、広く参加を呼びかけることにし、統一テーマを「生協運動の現在につながるテーマについての先駆者に学ぶ」とし、4人の講師による企画。以下、テーマの一覧。

第1回：柳田国男の消費組合論

第2回：戦前・戦後の生協の消費組合運動の女性リーダーとしての奥むめおに学ぶ

第3回：賀川豊彦と吉野作造から学ぶ

第4回：戦前の消費組合の組合員の活動について

### 3. 2017年度は、下期に月イチ企画で4回実施

●開催日程：いずれも土曜日で16時～18時に設定（およそ講義60分、質疑応答60分）

●開講場所：主婦会館プラザエフ5階第1・第2会議室

●受講対象：日本生協連グループで働く方々、OB・OGの方、生協を研究対象とされる方、生協に関心のある方 ●参加費：無料

●参加申込み方法：別紙申込書にご記入の上、EメールまたはFAXでお送りください。

2017年度日本生協連資料室土曜講義の企画

統一テーマ：「生協運動の先駆者に学ぶ」

右は石黒武重氏による揮毫。生協役職員向け

『CO・OP手帳』の表紙裏に掲載されている。

平和とよき生活のために

(1951年3月の日本生活協同組合連合会『創立宣言』より)

第1回：2017年10月7日(土)

「日本生協連第3代会長・石黒武重氏から学ぶ—異色の大物、協同組合を愛し、力を尽くす—」

講師：斎藤嘉璋氏（元日本生協連常務理事、元生協総合研究所専務理事）

ゲストコメンテーター：坪井俊二氏（元日本生協連常務理事）

※戦前の農商務省で産業組合課長をされ、山形県知事時代は産業組合育成に力を入れ、終戦時は枢密院書記官長、戦後は幣原内閣で法制局長官、無任所の国務大臣になられた。賀川豊彦さんや藤田逸男さんに頼まれて全東連(全東京都購買利用組合連合会)の会長になり、事業連の会長にもなられた。事業連と日本生協連の合併後、第3代日本生協連会長。役人時代に生糸貿易にも関わり、その経験を活かして立ち上げた日本協同組合貿易(株)の社長にもなられ、連合会の事業基盤を築かれた。

〔参考文献〕

- ・『私と生協』第1集・石黒武重氏講演録「私の戦後史雑感」1986年10月刊(市民生協生協会)、
- ・東京都生協連・日本生協連/編『努力を楽しもうー石黒武重先生小伝ー』1991年1月刊(コープ出版)、
- ・坪井俊二/著『松飾り、数の子珍味、きょうの春ー生協の五十年』2016年3月刊(私家版)

## 第2回：2017年11月18日(土)

### 「日本生協連第4代会長・中林貞男氏から学ぶー『平和とよりよい生活のために』を体現ー」

講師：斎藤嘉璋氏(元日本生協連常務理事、元生協総合研究所専務理事)

ゲストコメンテーター：坪井俊二氏(元日本生協連常務理事)

※早稲田大学卒業後、『報知新聞』記者となり、大日本産業報国会を経て敗戦戦後より日協同組合同盟設立に参加。賀川豊彦さんが亡くなるまで日本生協連専務理事として仕え、1962年副会長、71年第4代会長に就任。賀川精神を継承し、政党やイデオロギーを超えて多くの組合員が参加する反核・平和運動を広げ、ICA中央委員としても長く活躍した。1988年には日本生協連が国連から「ピースメッセンジャー」の認定を受け、1989年には中林さんがスウェーデン生協連の「アルピン・ヨハンソン・ゴールドメダル」(協同組合運動を通じて平和・自由の推進に多大の貢献をした協同組合に授与)を受賞。

〔参考文献〕

- ・中林貞男/著『平和とよりよい生活を求めてー生協運動私史ー』1985年6月刊(日本評論社)、
- ・『私と生協』第1集・中林貞男氏講演録「生協運動の現状と未来」1986年10月刊(市民生協生協会)

## 第3回：2017年12月16日(土) →12/7 講師のご逝去により企画を中止しました。

### 「戦前～戦後の城西消費組合の中心メンバーたちの生協活動」

講師：丸浜江里子氏(2006年に、杉並における原水禁署名運動研究に対し、平塚らいてう賞奨励賞を受賞)

※70年安保、沖縄返還運動の中で大学時代を過ごし、2000年に教員生活を終えて地元杉並で市民運動に加わった丸浜さんは、2004年に明治大学大学院に入った。そして、1954年に杉並で始まった原水爆禁止署名運動の実情を、当時の関係者にヒアリングし、中心人物が残した資料を読み込んでこつこつとまとめられて論文を執筆し、さらに書籍として出版された。大正デモクラシーの時代、関東大震災からの復興の中で関東消費組合連盟の中でも文化人を組織した西郊協働社が生まれ、のちに合併して城西消費組合となった。一方で住民の自治親睦組織だった町内会が日中全面戦争開始により国策協力機関とされていった。戦争の中で消費組合は活動停止を余儀なくされ、多くの国民に甚大な犠牲を強いて敗戦。GHQは日本の民主化のために1947年に町内会等の組織を解散させた。戦後の配給体制の混乱の中で食糧調達のために町内会の人的ネットワークを母体に人々

は力を合わせて地域生協をつくり活動した。戦後の杉並でも生協や主婦たちの活動が住民運動の出発点となった。戦前～戦後の杉並の消費組合、生協で中心的に活動したメンバーたちの活動に学ぶ。

〔参考文献〕

- ・『原水禁署名運動の誕生—東京・杉並の住民パワーと水脈—』2011年5月刊(凱風社)
- ・『ほうしゃの雨はもういない』2016年2月刊(凱風社)

#### 第4回：2018年1月27日（土）

##### 「協同組合における参加型民主主義—組合員参加の再生をめざして—」

講師：有田芳子氏＝元エフコープ理事、元コープかながわ常任理事、元ユーコープ事業連合理事、元日本生協連中央地連環境委員会委員、元日本生協連全国組合員商品委員(第1期)、現・主婦連合会会長

※1996年1月に「国際共同プロジェクトチーム・コープかながわ」の企画・編集でコープ出版から出された『協同組合における参加型民主主義—組合員参加の再生をめざして—』。1995年9月にイギリスマンチェスターで行なわれた国際共同プロジェクト報告の場に参加、分科会で組合員の立場から実践報告などを行なった有田さんに、生協の組合員活動に参加してリーダーになり、そのお立場ですと組合員参加を大事にしてきた歴史と抱き続けている問題意識をお聞きする。

(注記：「協同組合の基本的価値」をめぐる論点の一つとして1992年のICA東京大会でバーク氏が提起した「参加型民主主義」は、1995年のマンチェスター大会でも引き続きテーマとなり、それを国際共同プロジェクトで掘り下げようとしたものである。)

〔参考文献〕

- ・『協同組合における参加型民主主義—組合員参加の再生をめざして—』1996年1月刊(コープ出版)とその原本(英語版)のセット

#### 4. お問合せ・参加申込み先について

別紙の受講申込書を以下の事務局までお送りください。開講日の前日まで受け付けますが、なるべく早めにお申し込みくださいますようお願いいたします。

日本生活協同組合連合会 資料室 三崎 敬子

〒102-0085 東京都千代田区六番町15番地 主婦会館プラザエフ5階

TEL.03-5216-7760

FAX.03-5216-6035

E-MAIL:

[shiryou-toiawase@jccu.coop](mailto:shiryou-toiawase@jccu.coop)

